

給食を囲んで「語らいタイム」

広報 ひがし しらかわ

No.351
H2/5

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

—4月末住民登録人口から—

世帯数	910世帯
人口	3,492人
転入	23人
転出	22人
出生	2人
死亡	3人

先月と比較して0人減
昨年と同月と比較して
32人減

大人には まねのできない素顔の国際交流

「ビエン ベニードア ヒガシシラカワ」ようこそ東白川へいらっしゃいました——山の上の白い校舎が国際社交場と変った5月1日、日本最終公演に訪れたスペインの「ヴィクトリア合唱団」34人は、児童246人の割れるような歓声と東白川小学校の広びろとした環境に大喜び。

長期滞在の疲れも一気に吹っ飛び、荷物を置くのもそこそこに、児童らの手を取って“遊びの森”へと駆けて行った団員たちは、公演までの3時間余りを大はしゃぎに楽しみました。

—関連記事6ページ掲載—



大きな背中におぶさって「ふれあいタイム」を楽しむ児童



16人増・村内流入9人

16人減・村外流出11人

38人減・村外流出33人

3,492人

入ってくる人出て行く人

立村百年を記念して昨年村が発行した記念誌「東白川村の百年」によると、村が生れた明治二十二年の人口が三千五百五十一人、百年を経過した平成二年三月末の人口が三千四百九十二人。ただ単純に五十九人減っただけではありません。人口とは、私たちの村にとってどのような意味を持っているのでしょうか。そこを考えてみたいと思います。

今、海の向うイギリスでは、「人头税」の実施をめぐって大荒れとなっており、長い間続いたサッチャー政権が危機に立っています。

この人头税とは、無差別に人口一人当りに税金を課す制度のようですが、このように人口というものは、国や地方の行政にとって、非常に重要な資料であります。

多くの人が街へ出た

私たちの村の人口は昭和十四年に五千二百八十三人というピークを迎えています。

最も大きい減少を示したのは昭和三十八年で、一年間に百七十三人も減っています。このころは日本の経済の成長期で、今日の繁栄は、これら農村から

都市へ流れ出た多くの人々が築いたものと言っても過言ではないでしょう。

昭和四十年代は年平均四十五人程度の減少を続け、遂に昭和五十年には四千人を切りました。五十年代は減少率は少し低くなったものの、年平均三十五人と減少は止まらず、六十年代に入って三千五百人台まで到達しました。上のグラフをご覧ください。

さい。

昭和五十九年から今年の四月までの月ごとの住民登録人口を表したものです。

昭和五十九年一月

何を語るか？ この人口

六人と四カ月に二百十九人の減少は、一年平均三十五人と、昭和五十年代の減少傾向がそのまま続いて、私たちの村から人が流れ出しているのです。



一人一人の出入り記録は、住民課の窓口で記録される。

一日に三千七百人、一人あつた人が、今年四月に、東白川中学校を卒業した若者たちが、次から次へと役場の窓口を訪れ転出証明書をもらって行きます。そして村の人口は一気に少なくなってしまうのです。このような転出がある反面、新しく村へ入ってくる人もあります。それは四月から村の小中学校へ赴任された先生やその家族などで、これらの人々は転入者となつて村の人口の増加要因となります。しかしほとんどの場合、先生は転出と転入が入れ替へになるため前の人口より大幅に増加することはありません。かくして、中学生の転出で少なくなった村の人口は、ほとんど回復しないまま、次の年の四月を迎えるのです。

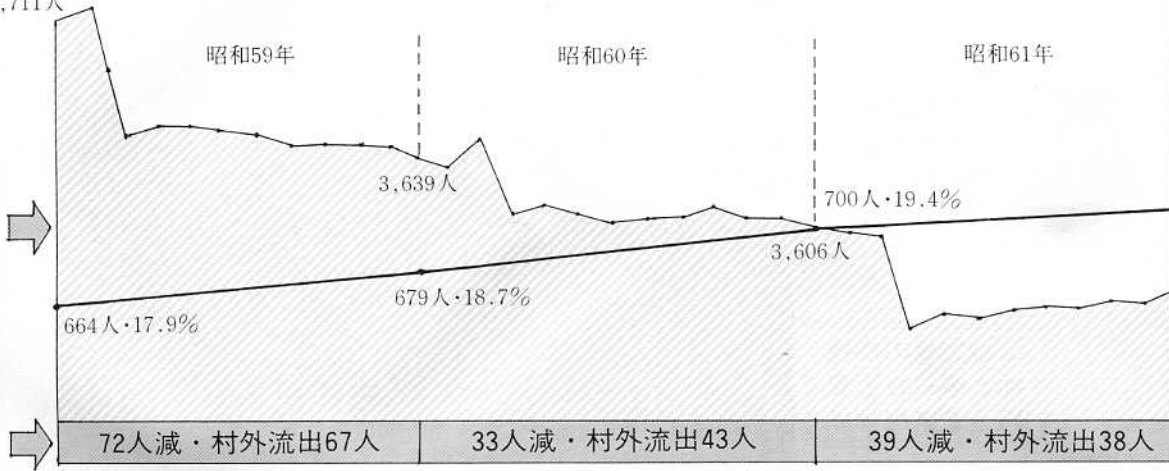
村を出る中学生

その数だけ人口が減る

上のグラフには二つの特徴があります。

3,711人

住民登録人口の変化。点線部分の数字は各年の1月1日の人口。急激な落ち込み部分は4月



昭和六十二年、人口に異変が起きた

上のグラフに見るもうひとつの特徴は何でしょう。もうお気付きのことと思いますが、昭和六十一年四月から平成元年三月までの三年間のようすです。

急激な下降線をたどって来た人口が、この三年間はほぼ横ばい状態となっており、特に六十二年は上向きに転じており、この一年間は前年に比べて十六人の増加となりました。

前の年に對して人口が増えたのは昭和三十年以来、実に三十三年ぶりのことでした。

この異変は、岐阜部品株式会社が昭和六十一年八月から操業を始め、六十二年に新工場本格操業を開始した時期と完全に



スペインの合唱団を歓迎して合唱する小学校全校児童

3,492人

一致して人口の増減にはふたつの要因があります。人が生れ、死ぬことによつて変化することは自然的な要因です。これを「自然増」といいます。

あるいは自然減」と呼ぶの村の外へ出て行くこと、と、入ってくることによつて変化することを「社会増」といいます。

この「社会増・減」と「自然増・減」を合せたものが、その年の人口の増減になるのです。昭和六十二年の場合は、全体で十六人増のうち、村内流入、

つまり社会増が九人ですから、自然増は七人ということになります。

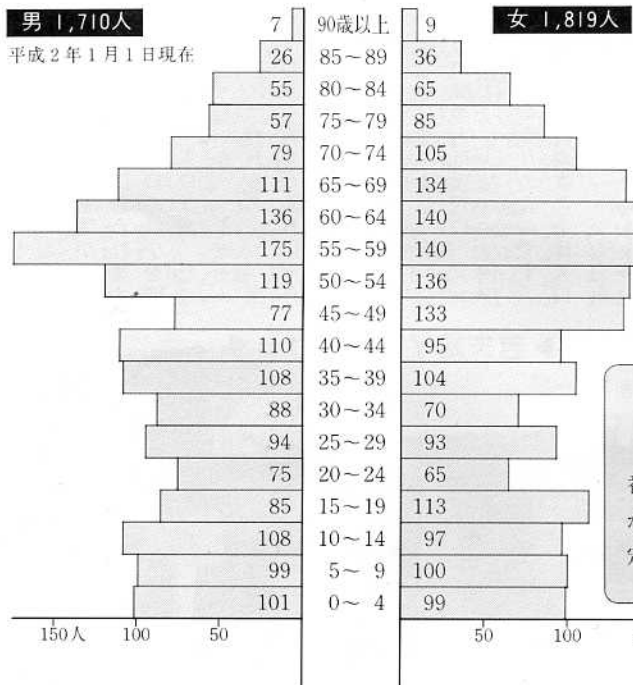
死亡者より生れる人が多く、出て行く人より入つてくる人が多いという年は三十年から四十年に一度という「特異年」と言えるのです。

ピラミッドが崩れる！

めつたにないこの「特異年」を演出したのが、岐阜部品の企業誘致だったのです。

働く場所があれば若い人が増える。若い人が増えれば子供が生れるというパターンが人口の

増加の方程式といえるでしょう。左のグラフは「人口ピラミッド」と呼ばれるものですが、二十歳から四十歳後半までの人口層が、ぐっ……と切れ込んでいます。本来ピラミッドとは底辺



東白川村の人口ピラミッド
50歳台から60歳台の年齢層が一番多く、20歳台が極端に少い、上が大きい「頭でっかち型」で不安定である。

三角形が広い
である
べきな
のです
が……
（次ページへ）

産業

ゴルフ場の候補地となった下親田、大多尾地区



思い切った何かをほしい

今年になってある業者からゴルフ場開発の話が持ち込まれました。通称「大多尾」と呼ばれる下親田地域の、比較的傾斜のゆるやかな山林、およそ百七十畝を開発して、十八ホールのゴルフ場を造りたい……というものです。

村では議会に相談し、とりあえず地元の上・下親田の皆さんに諮ってみようということになりました。

前ページの人口ピラミッドに見られるように、若い年齢の人口が増加させるためには、ゴルフ場のような魅力のある産業の誘致を検討することも必要ではないか、という意見があったからです。

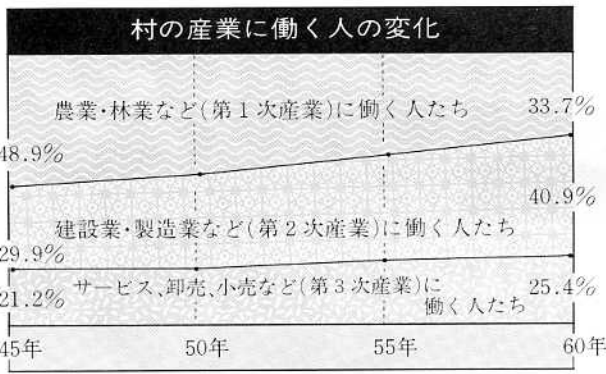
地元の反応は賛否まちまちであったものの、現在全国的に問題となっている水質汚染や、自然保護などの立場から開発は見合せるという方向が大勢を占め、村もこれを受けて、そのように方針を決めました。

ゴルフ場は見合せる方向になったものの、村の人口が三千五百人を下廻った現在、その人口を支える産業が今のままで良いわけはありません。

力強く、魅力のある産業があれば人口の減少は止まり、若い年齢層も増えるのです。

働く人が村を創る

左のグラフを見ても、農林業などの第一次産業に働く人口は減少し、第二次、第三次産業に従事する人が増加しています。それだけ第二次、第三次産業の分野の発展が望まれるわけ



将来の村の人口を考えると、新しい産業開発、あるいは誘致といった思い切った施策が必要になってくるように思われます。

このように、人口の減少を問題にすると、「人口は減った方がいいじゃないか」「なぜそんなに人口にこだわるのか」「東白川は豊かな自然があればそれでいい」という反論が出て来ます。

ここでもう一度前ページ上段のグラフを見てもみましょう。全人口の減少とは反対に、グングンと上昇しているのが六十五歳以上のお年寄りの人口です。平成二年一月現在の全人口に占める比率二十一・八割は岐阜県の中でも十指に入ろうかという高率です。

確実に増えるお年寄り

私たちの村の場合、人口が減るといふことは、若い人が減ってお年寄りが増えるという意味を持っているのです。そして再び人口ピラミッドに注目して下さい。五十五歳から六十四歳までの「高齢者予備軍」の多いこと、私たちの村の高齢者比率は毎年うなぎのぼりになることが保証されています。

一人でも多く若い人が欲しい、そのために何かが必要だ、とゴルフ場は考えさせてくれました。

▶若夫婦インタビュー◀

安江道雄さん
千佐子

兄弟は多いほうが子供のために良いが経済的には3人くらい



(宮代)



有田尚樹さん
恵実
(下親田)

授かれば何人でも良いが一応3人くらいかな

村雲成男さん
由紀子
(陰地)



4人は経済的にも体力的にもちよっと……3人にします

今年国勢調査の年

国勢調査は5年ごとに行われていますが、今年はその年にあたります。

村ではすでに21の調査区を決めて準備をしていますが、10月1日午前0時の時点で、この村に住んでいるすべての人について、調査員がお伺いして聞きとり調査を行います。

国勢調査で調べられ、決定した村の人口は、それから5年間行政のあらゆる分野で基礎資料として使われますが、最も関係の深いのが、国から交付される地方交付税で、平成元年度で交付された10億円余の金額は人口割りが最も大きい比率を占めています。

今年の調査で人口が少くなれば、交付税の減少要素となるのは当然です。

村の人口はこのように村の財政にも直接むすびついています。

人口を支える

若さは活気と希望

猿は群

をなして生活してきます。しかし群

の数が一定数より少くなる

とその群は崩壊するといえます。人間を

猿にたとえようと怒られるかも知れませんが、

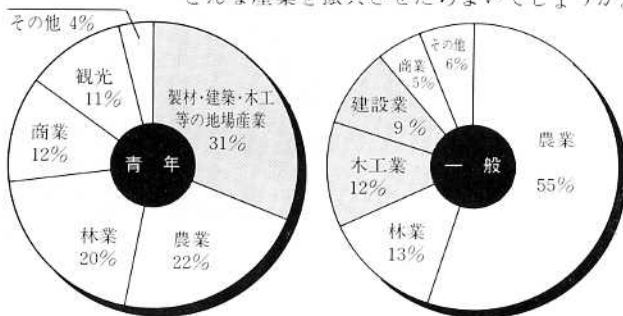
遠い親戚だからお

開発と発展をめざして

今、村では二十一世紀ビジョンとも言える「総合計画」の見直し作成にとり組んでいます。このような若い人の意見が

アンケート調査 (58年6月)

どんな産業を振興させたらよいでしょうか。



重視して、村の自然を生かすような開発も積極的に進め、ハイテク産業の誘致などにも機会があれば挑戦し、一方で住宅の整備や水道、道路などの住環境の改善にも力を入れながら群の維持に力を注ぎたいと思います。

こんにちわ、もつと赤ちゃんを

さて、人口について考えてきたこの特集に、忘れてはならないもうひとつのテーマがあります。

それは赤ちゃんの誕生です。平成元年一年間に生れ、東白川村民となった赤ちゃんは四十人。これに対して死亡された人は四十五人。これでは人口が増えるわけがありません。

私たちの村ではほとんどの年が、死ぬ人の数より生れる人のほうが少ないのです。

そこで、現在子育てに奮闘中の若い夫婦十組に聞きました。結果は次のとおり。

質問「子供は何人ほしいと思いますか？」

答え「一人一組なし・二人一組・三人一組」

九十組の夫婦が三人と答えたわけですが、もちろん十組だけで村全体を計ることは無理があります。しかし全国的な統計では五十以上以上の人が二人と答えているのに対し、子供は三人と考えている夫婦が九十組とは心強いかぎりです。

総理府統計局が「こどもの日」

にちなんで発表した推計によると、今年四月一日現在の日本のこども(十五歳未満)の数は二千二百八十三万人で、昨年より七十六万人減って、総人口に占める割合は十八・五割と戦後の最低を記録したということです。東白川村の今年一月一日現在の統計によれば、こどもの数は六百四人、村の全体人口に占める割合は十七・一割と国全体の比率より低くなっています。

人口の自然増だけは若夫婦のがんばりに期待する以外ありません。熱い声援を贈ります。

▶若夫婦インタビュー◀

稲垣 進さん
八穂子 (陰地)



みんな3人つくれば人口は減らない3人で手いっぱいだしね。

田口喜一さん(陰地)
聡子



まわりのようすを見ながら3人目を...

安江友則さん
浩子 (上親田)



はーが出来るまで挑戦！でも3人目で当てるからこれで終りかな



言葉は分るなくても心は通う

「お姉さん結婚しているの？年はいくつ？恋人いるの？」
次つぎと発せられる子供たちのドキッとする質問に、情熱
の国スペインの大学生たちも、さすがにビックリ。
子供たちのこの飾り気の無さが、肩やひじを張らない素
顔の交流を望んでいた合唱団の心の扉を開きました。

日本人より上手 な字を書いた！

スペイン、サラマン
カ市、ボンテイフィシ
ア大学の「トマス・ル
イス・ウイクトリア合唱
団」の日本公演は、白
川町黒川のオルガン建
築家辻さんの縁で、岐
阜県が行った国際交流
事業として実現しまし
た。

東白川村での公演は
その最終日。それまで
行ってきた公演は、名
古屋、岐阜、大垣など
いづれも立派なホール
での公演でしたが、私
たちの村では小学校の
体育館とあって最初は
心配の連続でした。
それならいっそのこ
と子供たちとのふれあ



わたしが書いたのよ上手でしょ

いをテーマにしよう……と、小
学校が企画した内容が大当り。
合唱団の皆さんも、そうした
気持に応えようとユニホームを
着用せずみんな思いおもいの私
服だっただけに、ほんとうに肩
のこらないムードでスタートし
ました。

三年生の習字の時間をのぞい
た団員たち、いきなり学習の仲
間入りをして毛筆に挑戦、「川」
という字を上手に書いておみや
げにスペインへ持って帰ると大
満足。
昼食はくじ引きで子供たちと
同じテーブルで同じ食事、「同
じ釜のめしを食う」ということ
はのとおり、いっぺんに仲良し
に……。

公演はNHK岐阜放送局の高
田アナウンサーの司会で、はじま
り、スペインの民族音楽を十曲
ほど聞いたところで、全校児童
二百四十六人が歓迎の気持ちを
込めて「小さな世界」を大きな
声で合唱。客席の団員からブラ
ボー、ブラボーの歓声の飛ぶ中
を今度は中学校三年生三十四人
が登場「モルダウの流れ」を披
露しました。

平の店で買ったみやげは？

この合唱団の指揮者ヒロ教授
は「この学校の企画力、教育方
法、創造性豊かな先生と子ども
たちに驚き、その歓待に感動し
ました」と印象をのべられ、公
演もいよいよクライマックスへ。

花東のお返しに日本の名曲「
荒城の月」が合唱団からブレゼ
ントされ、児童全員が日本の思
い出にと心を込めて折りあげた
千羽鶴のレイが団員の胸にかけ
られて、友好のふれあい公演は
終わりました。
村民センターで開かれた歓迎
夕食会では、村からのプレゼン
トのハッピに大喜び、さっそく



ハッピをもらった喜びを歌いあげる団員

得意の歌「カリニヨッソ」(深
い愛情という意味)の合唱でお
返し。何しろ陽気な国民性、ギ
ターに合せてステージ一杯に歌
い踊り、そして一夜の夢を東白
川の地に結んだのです。
翌朝帰りのバスに持ち込んだ
おみやげは、平の店で買った下
駄、塗り箸、足袋、花の種、び
んせん、そして東白川の思い出
でした。

スペイン語豆辞典

ブエナスノーチェス	こんばんわ
ブエノスディアシ	おはようございます
コモエスタ	お元気ですか
アディオス	さようなら
ムーチャグラーシアス	ありがとうございました
ムーチョグレース	はげしくおめでとう



AM9:30 大雨の中をツチノコ探しに出陣

去年は快晴
今年は大雨

心ゆくまでロマン探し

つちのこでてこい祭り



車だん吉、槌の子を描く

ロマンに満ちて現代の夢を追うツチノコ捜索イベント、名付けて「つちのこでてこい祭り」が五月五日、下親田ちびっこ広場周辺を会場に開かれました。

当日は、強い雨と風にもかかわらず、名古屋、知多、東京、横浜などから県外者約五十人が訪れ、村内の参加者も加わって約百人が探索に挑戦。

少し雨足が遠のいた午後、ステージイベントには約二百人が集合し、テントに入って特産品を買い求めたりお酒を飲んでは、語らいの中に参加者同志の交流を深めました。

今回のイベントは、地元親田集落のみなさんを中心となって組織した「槌の子でてこい祭り実行委員会」が主催したものです。

午前中のツチノコ捜索は、探そう会の皆さんが案内人となつて一木平方面を探索。

雨傘にカッパ、長くつスタイルの参加者の中には、桂川村長をはじめ、日置可茂県事務所長、和良病院へ転出された大谷先生、そしてタレントの車だん吉がTBSの取材陣の中にキャスター役で来村していたりと、激しい雨にもめげず二時間ほど草むらや石垣の中を丹念に捜しました。

結果は、ヤマカガシ、サワガニ、トカゲ各一匹とまじしてもロマンが残ったツチノコ。

くるぶしあたりまで泥につかりながらも、自然にふれて、みんな大満足の様子でした。

捜索後、槌の子神社祭での神事に参列した参加者は、奉納たる酒やつきたて餅のサービスに舌鼓を打ち、一時から始まったふれあいステージを囲んで二時間余りをなごやかに過ごしました。

途中、餅つき体験に車だん吉を引っぱり出し、おまけに得意の漫画まで描かせるなど、大雨

洪水警報発令中ですが、国道41号線、白川加子母線が交通止めになっているのも忘れ、うちとけ合って楽しんでいました。

準備から設営、かたづけまで親田集落みなさんのパワーと心意気でやり抜いた今回のイベントに、これからの地域おこしの姿を見ることができました。

この豪雨の中、訪れた取材陣は、TBSテレビ、東海テレビ、朝日・毎日・中日・読売・岐阜新聞各社でした。(車だん吉の絵は11ページにあります)

東白川村議会
議長に安江氏が就任

5月10日に開かれた東白川村議会臨時会で、私約交替によって議会役職の改選が行われました。議長に安江久夫氏、副議長に村雲利彦氏がそれぞれ就任されました。平成2年5月10日現在の議会構成は次のとおりです。

職名		氏名
議長		安江久夫
副議長		村雲利彦
総務常任委員会	委員長	田口哲彦
	副委員長	田口迪夫
	委員	古田保
	委員	安江久夫
民生教育常任委員会	委員長	安江誉
	副委員長	熊澤健
	委員	大坪信也
	委員	村雲利彦
建設産業常任委員会	委員長	今井啓市
	副委員長	村雲直樹
	委員	古田眞之助
	委員	安江兼辰



今年新しく誕生したツチノコカップル

10年後へ

カプセルを掘り出すところは 孫を抱き



10年後に掘り出すのはほぐれたよ

「ほ場整備、県道バイパス、共同墓地整備など、一生のうちで下野集落がこんな変わる機会はない。今をタイムカプセルに残そう」そんな今井克幸さんの発案で、四月十五日、二十戸のメッセージを納めたカプセルが地元の四人の子供たちの手で下野集会場横に埋められた。メッセージには、*十年後の我が家族へ*今年の下野集落*十年後の下野集落の予想などが込められています。

稚鮎 今年こそ 釣り天狗 今年こそはの



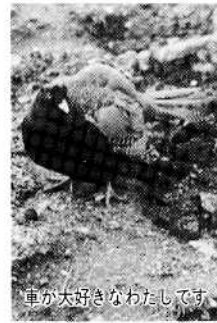
バケツ放流は大明神川

「サバのようなアユが釣れるかもしれない」。そんな期待が、今年の友釣り解禁に寄せられています。五月九日までに放流した千九

百八十匹の稚鮎は、例年の平均を二、五割も上回る大型。それに加え、放流直後からの水の状態がこれまでにない良好で、グングンと育っているからです。おとなしい県水産試験場の人工ふ化アユは二割程度、あとの八割は天然遡上の琵琶湖産アユとあって、早くも闘争心は一人前、縄張り争いに激しい迫いを見せているので今年は大型の釣果に胸がふくらみます。

愛鳥

桃太郎ではないけれど キジを供



車が大好きなわたくしです

ご覧いただけますか——この写真は、望遠カメラで写したものではありません、神付の村雲馨さんが本人が足元で遊んでいるキジを撮ったものです。「おそらく放鳥キジだろう」

という村雲さんですが、その懐き様は愛犬並み、特別にエサを与えて飼育したわけでもないのに、仕事に出かける村雲さんの車を追っては神土角領線の出合いまで見送り、帰りは車の音を聞いて迎えに出るほど。そばえかたは犬と違ってくちばしでツンツン。「お陰で服を二着ほど破られてしまった」という村雲さんとかわいキジ君の付き合いは、春の交尾期間中少しお預けとなりました。

全校登山

おにぎりも 食う楽しみで 重くない

快晴に恵まれた四月十六日。五回目を迎えた東白川小学校全校登山のめざす先は、標高九百七十三・四坪の新栗山。午前八時五十分、長袖に長ズボン、背中にリュックサックとあった登山スタイルで参加した四十人の父兄とともに山頂をめざして元氣よく出発しました。歩く距離は、五・六年生の十一時を最長に、低学年になるにつれ山頂に近い場所から出発。

県道越原付知線から黒淵の穴沢林道へと進み、ハナノキ自生地を通過したあたりで全児童が合流。ここで、学年たて割りの「なかよしグループ」を編成して山頂まで一気に登りました。登頂した児童らの第一声は、「あーやつとおにぎりが食べられる」。そして食後に俳句を読んで楽しむ風流さ。こもれびが 温かき日の春の山(悠紀)もその日の一句。

けいじばん



誕生おめでとう
ございます

■戸籍の窓 四月―敬称略

(神付) 村雲 健次 光 (長男)

(下野) 今井 克幸 恭兵 (長男)

(長男) さつき (長男)



いつまでも
おしあわせに

(安江 武司(陰地)
今井みどり(加舎尾)



おくやみ
申しあげます

早瀬 もるの 98歳(中通)
古田 清吉 86歳(上親田)
石神 武夫 67歳(平)

■善意の寄付―敬称略

〔社会福祉施設整備基金指定寄付〕
現金五万円―古田碩雄(上親田)

〔母子保険指定寄付〕
現金十万円―田口千春(平)

〔社会福祉協議会へ〕
現金三万円―田口達雄(柏本)

現金五万円―立正佼成会東白川地区

〔役場関係施設へ〕

珍トカゲ

切られても
残ってる
もう一本が

「エターノシッポが二本？」と疑いの方、うそではありませぬよ。よく写真をご覧くださ



ぜんぜんこわくないよ

い。少し短いです。クルツとカールした尾が付いています。

このトカゲ君、器用なのか不器用なのか常識を破った変りもの。

捕獲したのは、日向の安江邦晴君(11)。「ぼくんちの池のそばにいておもしろかったから」と無邪気に答えてくれましたが、見ようによつてはゾツとしますね。

給食

ほっぺたを
五加園児
落として帰る

「今までの給食よりおいしい」「こんなおいしいの食べたことがない」

「残さなくなったよ」

五加保育園児の給食の感想です。



みんなきれいに食べました

これまで小学生と同じメニューの給食を食

べていた園児たちは、この四月から三園揃った園児給食が食べられるようになりました。五月九日、地元区長寺坂五郎さんと議会関係者を迎えての「試食会」が五加保育園で行われ、「暖かいものが食べられるようになっていい。献立も味も文句なし！安心しました」という区長さん。保母さんらも「手をかけた温かい給食になって、園児らも大喜びですよ」と、おかわりの対応に追われていました。

桜に雪

花と雪
おれの出番と
意地を張る



中学校運動場にて

今年の春の天候は、ちよつと異常。雷、大雨、真夏日和と、季節感の混乱した天候が続いている中で、特筆ものは入学式を迎えた四月六日の大雪。

その光景が上の写真ですが、満開桜となった花見の季節に数十日先の見通しがきかないほどの雪。ピンクと白のコントラストを描きながら「季節をまちがえたかな？」と急ぎ足で散った今年の桜でした。

エビネ

庭の花
今年はどこへ
おすそ分け

ホームヘルパー(家庭奉仕員)

として活躍している陸地の五斗あいさん(50)宅の庭のエビネが、いつもより五日ほど早く白・黄などのかわいらしい花をつけま



こんなに咲きました

した。五年前、九州へ嫁いでいる妹さんから送られた数株を、子供のように毎日手をかけては育て、二年目にやっと開花。

今では株も広がり、庭いっばいに咲き誇るエビネを、花を愛する人たちへと毎年少しづつ配っておられます。

花を傷めないようにと囲ったモダンな柵は、おとうさんの配慮です。「エビネ＝ラン科の多年植物、根の形がエビに似る」

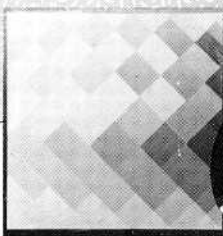
けいじばん

- ぞうきん五十七枚―婦人会神土支部
 『東白川小学校へ』
 カーネーション造花二百六十本―東白川村母子寡婦福祉会
 ▼ぞうきん四十枚―婦人会五加支部
 ▼竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会
- 【訂正とお詫び】
 四月号誕生の欄で、安江智宏は智広の誤りでしたので訂正しお詫びします。
- 【神土保育園へ】
 ぞうきん五十枚―婦人会五加支部
- 【東白川中学校へ】
 ぞうきん六十枚―田口貞造(中通)▼カーネーション造花四十六本―東白川村母子寡婦福祉会▼ぞうきん三十二枚―婦人会神土支部
- 【越原保育園へ】
 メルヘン童話集二十四冊―松岡良典(日向)▼カーネーション造花四十本―東白川村母子寡婦福祉会▼ビニール製わらぞうり四十足―安江正之(曲坂)
- 【五加保育園へ】
 カーネーション造花二十七本―東白川村母子寡婦福祉会▼ぞうきん二十枚―婦人会五加支部▼竹ぼうき十五本―老人クラブ寿会

◀たのしかった1年生を迎える会
東白川小学校1年
古田高子さん(西洞)

▶平面構成
東白川中学校2年
今井美香さん
(柏本)

わたしの作品



◀形と色に変化のある平面構成
東白川中学校2年
松岡康文さん(大明神)



お知らせ



学卒求人説明会が開かれます

6月13日

美濃加茂公共職業安定所では、平成三年三月の学卒求人説明会を次のとおり開催します。

採用計画のある企業のみなさんへぜひご出席ください。

(日時)平成二年六月十三日(木) 午後一時三〇分から三時まで

(場所)美濃加茂市文化会館

※詳しくは、職業安定所学卒係 (☎〇五七四―一五―二七八) までお尋ねください。

今年度最初の子宮ガン検診

5月31日

五月三十一日、農協越原事業所前で午後二時から、今年度最初の子宮ガン検診を行います。お互いに声をかけ合ってお出かけください。

●検診費用は、千円です。子宮ガンは、以前に比べ大変

減少してきましたが油断はできません。日本人の場合、子宮ガンの八十五%が子宮頸ガンといわれており、検診車ではこの子宮頸ガンを調べます。

なお、今年度から乳ガン検診を同日実施する予定でしたが、検診機関の都合で別の日に実施することになりましたのでご了承下さい。

今後の検診日程

・十月八日 五加センター前

・十月九日 東白川病院前

なお、九日は子宮ガンと乳ガン検診を合せて行います。

胃ガン検診

三会場で行います

6月6日～8日

六月六日から八日までの三日間、次の会場で胃ガン検診を行います。いずれも、午前七時三十分から八時三十分までです。

- ・六日 五加センター
- ・七日 越原保育園前
- ・八日 役場前

●検診費用は千円です。

ふるさとのことば 16

☆おられる

「若い衆はおられる。ちよつと力貸してもらえんやらか」と隣りのおじいさんが家の中に向かって声をかけました。何か重いものを動かそうとしまし

たが、おじいさんだけでは、どうにもならず、若い人の力が欲しいのです。

「おられる」は「居る」を丁寧な尊敬の気持ちを持っていう言葉です。だから「若い衆はおるけ」と言うところを丁寧に「おられるけ」と、共通語でいう「いらっしやいますか」という意を込めて言った訳です。

「おられる」は「お

らつせる」ということでもあります。「いなざる」「いらつしやる」という意です。人を訪ねて呼び掛けるときに「○○さんおらつせるか」と言いますが、「○○さん、いなざるか」と丁寧ではあるが気軽に話しかける場合に用います。

「おられる」が変化していった言葉に「おらまいか」「おらまいか」などという語もあります。「いよう」「いましよう」という意です。人を待つときに「昼飯を食べておらまいか」と、その人が来たら直ぐ出かけられる準備をします。また、「行きまうおらまいか」といって、人より先に「出かけていよう」ということでもあります。

「おる」を否定する言い方も多くあります。「いらつしやらない」「おられない」という意の丁寧語「おらつせん」「いな」という突っぱねた言い方の「おらん」「おれへん」「おれせん」。「いやしな」といえないので「いないだろう」「いやしないだろう」という意の「おりやせまい」などがあります。これらの言葉は、もう少し細かく分析すると、共通語にはない独特の心や情感がこもっていることに気付きます。



わたしのおかあさん
五加保育園
あはうともみ
(大沢) ちゃん



▲わたしのおかあさん
五加保育園
いまいゆき
(柏本) ちゃん

▲ぼくのおかあさん
五加保育園
すぎやまひろゆきくん(大沢)



三年
二
年平

◀初めての習字
東白川小学校3年
山下洋平くん(神付)

今月の図書



遠くの声を探して
山田 太一著
深い感情の彼方からそれはやってきた。「アナタハ、グレナノ」。テレパシーのように届く女の声。日常を激しく揺さぶられながら、謎の「声の女」と出会うことができるのか…ファンタスティックな情熱をさまよう物語。

(まが たま)
幻 玉



笠原 淳著
宮崎西都原古墳群が誘発した不思議な女性との出会い——作家に訪れた華やきの瞬間と、悠久の時に溶け込む歳月の流れを神話的空間に描いた力作小説として紹介します。

グリーンピア恵那では、六月十日(日)を加茂郡の日とし、管内市町村のみなさんの入園を無料にします。
入園無料チケットは、役場窓口でお受け取りください。チケット一枚につき、四人まで入園できます。さらに、このチケットは、入浴券、ローリングコースター試乗券各四枚と引換えて

胃の調子が良いからと受けない人が多いようですが、検診は調子がよいうちに受けるのが一番です。
入園が無料に
加茂郡の日
6月10日
グリーンピア 恵那

進めています=ふるさとづくり

◆工事入札結果(工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています) =敬称略=
【柏本】公営住宅敷地造成工事・五加木曾渡・1,270㎡・12,360千円・(株)マルト土木・9/22・村



槌の子出現の図

子どもたちの餅つきのリズムに合せながらマジックを走らせる。最初は坊やの頭のあたりから。何が出来るかな……と熱心に見守る観衆の前に、しだいに現れたびっくり坊や、槌の子は遂にだんちゃん(大沢)の画の中に登場したのであります。親田地区の人たちを中心に結成された「槌の子でてこい祭り実行委員会」のメンバーの宝物となった「私の一品」は車だん吉サイン入りの槌の子出現の図。本物は村民センターにかざってあるので、約二百分の一に縮小したコピーをお目にかけます。

「車だん吉さんがまもなくステージに登場して漫画を描いて下さいませ」とアナウンス。
五月五日の槌の子でてこい祭りのことである。「エッ?車だん吉に画を描かせたらギヤラ(出演料)がたいへんだらうに……」と心配をよそに、村雲次郎実行委員長は涼しい顔。
ギヤラはTBS持ちだヨ……がめつくて押し強いテレビマンの上前をはねるバイタリテイは、これぞ槌の子魂と言わべきか。
かくしてタレント車だん吉はステージにのぼり、まず餅つきをやらされた、途中でこね足らないと見るや腰をかがめてこね廻す。素人とは思えない杵さばきである。
そしてこんどは本職も脱帽という漫画に取りかかる。

車だん吉の神楽奉還記念



わが家のスター

満1歳

◀(義文さん・由美子さん
二男=下親田)



安江健佑くん



笹俣依里ちゃん



樋垣美緒ちゃん



野村文裕くん

▲(孝さん・末子さん
二男=柏本)

▶(進さん・八穂子さん
二女=陰地)



田口彩香ちゃん

▶(和隆さん・文子さん
長女=下野)

▲(良昭さん・直美さん
長女=日向)

●短歌

広報文芸

寝返れば既に暁なり起いだし構えの妻は何か呟く

味よりも収量本意の穂種を探し求めて分けて作りき

春の陽の土の温り確めつつ茄子びの種蒔く昼のひととき

複雑な気持ちで見送る孫二人一人は入試に一人はスキーに

如月の雨上りたり枯枝にダイヤの如き水たま光りぬ

この孤児に戻らぬ歳月あるならば第二大戦は消しがたき罪

病あつき兄を見舞うて帰るみち駅のシグナル滲みて消えし

春陽のひだまりに咲くとりどりの花はやさしく語りかけくる

帯の布古き絵皿など手掛りに帰国の孤児に時よ戻れよ

硝子越雪姿に耐へて竹群は春一番にもまれて騒ぐ

師の教へ歌よまむ度に浮ぶれど未熟の悲しさに恋ふるのみ

昨夜の雨忘れし如く晴れやかに宮の太鼓の音澄み渡る

夫逝きて早三十年の変わらざる心を香に託し手向けん

早咲きの葉桜日に瑞々し勢付けて頼もしく見ゆ

夕映えの中の白梅見て居れば笑み給ひし師の影躰ちくる

壮健に長寿を保つ平成の一家の祖父母還暦と古稀

踏み迷ひて木霊も哀れ絶えだえに春まだ浅き小秀の山は

(加子母村小秀山遭難に)

凍土を起して午旁掘り出せば早白き芽の伸び初めており

からからと鳴きつつ走る枯葉群車除ける如舗装みち急ぐ

あなたの作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までには神土伊藤重雄宛に出して下さい。

田口 巽午

早瀬 勇造

安江 幸

安江 澄

古田よし江

小池 弘子

三戸 きり

安江 龍玉

今井 かな

田口 一枝

早瀬 久子

安江 節子

小池 きぬゑ

安江 すみよ

安江 守平

村雲 うめ

安江 嘉久一

伊藤 美枝

伊藤 重雄

立村百年記念植樹

梅のうめ話

と聞のある桜と梅の間隔が短くなった。おかげで花見酒はまさに両手に花といった風情だった。平安の昔には初春の長谷寺詣で(京都)には酒ではなく、歌を作って雅を楽しんでたという。今もその

桜の花の華やかさに比べて、どちらかというと梅の花はひっそりどつつましい。そのせいか日本古来の和歌の中にも桜の歌は数あれど梅を歌ったものは意外と少ない。その中で百人一首のこの歌を思い出していた。人はいさ心も知らずふるさと、花ぞ昔の香にはほひける。紀貫之。▼今年二月の異常な暖かさで桜の開花が早くなり、いつもはもっ

長谷寺に「貫之の梅」が残っており、花ぞ昔の香に匂いながら作者の面影を偲んでいるのである。▼さて場面は急転回して平安の世から現代へと変る。梅にとって最も一般的な病気に「黒星病」というのがある、青梅の表面にソバカスのような斑点が付くあれである。これは梅の実の商品価値を著しく下げ、自家用の梅干しにしても旨くない。実はかなりでなくその春に伸びた新梢にも斑点をつくり翌年の伝染源になるので病気の付いた枝を切り取ってしまえば良い。しかし全部を切ってはまずいし、枝数が多ければ完全に切ることもできない、そういうときにはトップジンM水和剤千五百倍液かオースサイド水和剤六百倍液を散布する。▼東風吹けばおもい起こせよ梅の花。主なしとて春を忘るな。あまりにも有名なこの歌で今月号を締めくりたいが、有名は昔の話で現代にはもはや通用しないだろうか？作者の主にならなくて嘆いてみる。